

「インドネシアビジネス交流会 in ジャカルタ 2017」を開催しました

百十四銀行（頭取 綾田裕次郎）は、7月14日、インドネシア・ジャカルタにおいて、常陽銀行、十六銀行、南都銀行、山口フィナンシャルグループ（山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行）と合同で*「インドネシアビジネス交流会 in ジャカルタ 2017」を開催しました。

同参加行主催の海外ビジネス交流会は、昨年7月の中国・青島に続き4回目であり、インドネシアに進出している日系企業88社（うち当行お取引先22社）が参加し、情報交換や企業交流を積極的に行っていただきました。

第一部のセミナーでは、フェアコンサルティングファームの佐藤取締役、バンクネガラインドネシア（BNI）の国際部副部長兼インターナショナルデスク長 Aidil Azhar 氏をお招きし、それぞれ「税務・会計面における押さえるべきポイント」、「BNI 活用のメリット」について講演いただきました。

第二部の交流会では、インドネシアに進出している各行のお取引先同士が、情報交換に加え、新たな取引先とのビジネスチャンスを広げる場として、積極的な交流が行われました。

当行では、今後も、インドネシアおよびアジア各地域における支援、海外進出の相談業務、各種セミナーなどを通じ、お客さまの海外ビジネスを最大限サポートさせていただきます。

※当行、めぶきフィナンシャルグループ（常陽銀行、足利銀行）、十六銀行、南都銀行、山口フィナンシャルグループ（山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行）は、三菱東京UFJ銀行の勘定系・情報系などの基幹システムを基に構築した「Chance 地銀共同化システム」を共同利用し、さまざまな分野で連携をはかっています。



以上